

政務官挨拶 環境大臣政務官 笹川博義

環境省とはとても頭の固いところで、「国立公園を観光客に解放しよう」という大胆な発想の元で、事業を展開する時代が来るとは思いもよらなかった。こういう新しい時代、門を開けようということなので、ぜひ多くの人の力を借りたい。

環境省においては昨年の3月に政府が取りまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づく10の柱の1つとして、国立公園満喫プロジェクトを推進している。このプロジェクトでは世界水準のナショナルパークとして日本の国立公園のブランド化を図り、訪日外国人の国立公園利用者を2020年に1,000万人にするという大きな目標の達成を目指している。国立公園の魅力を高め、快適な利用環境を整備し、これを国内外に強力に発信しようというものだ。

日本の国立公園では雄大かつ繊細な自然環境の魅力のみならず人々の暮らしが営まれ自然に育まれた伝統、食文化、温泉など地域特有の多用な生活に触れられることが大きな魅力だと思う。これらは海外の人々に大きな感動を与えるものであるが、残念ながらまだまだ世界の人々には知られていない。この魅力をどうやって掘り起こし、向上させ、わかりやすく発信していくか、今回のシンポジウムを通じて我々環境省としても学ばせていただきたいと考えており、環境省の職員も多く参加させてもらっている。本シンポジウムが各地域の熱心な取り組みに大きな気付きと有機的なつながりをもたらし、国立公園満喫プロジェクトをさらに加速させるきっかけになり、自然資源を活用した地域振興につながることに期待したい。

豊かで素晴らしい自然環境を次世代へどう受け継いでいくか、このことも大きな観点だと思っている。みなさまから貴重な意見をいただき、本プロジェクトが成功に導かれるように心からみなさまにもお力添えをいただき、開会にあつての挨拶とさせていただきます。